

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P238～245参照

高等部【家庭】目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	(2) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	(3) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	イ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	イ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

■ 特別支援学校高等部学習指導要領(H31)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 高等部2段階の内容を習得し、一部、高等学校や小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 高等部の段階の指導が難しい場合は、中学部、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P238～245参照

高等部【家庭】1段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	イ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

内容

	1学年	2学年	3学年	
A 家族・家庭生活	ア 自分の成長と家族：自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (ア)自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くこと。 (イ)家族とのよりよい関わり方について考え、表現すること。			
	イ 家庭生活での役割と地域との関わり：家族との触れ合いや地域の人々と接することなどに関わる学習活動 (ア)家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと。 (イ)家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、表現すること。			
	ウ 家庭生活における健康管理と余暇：家庭生活における健康管理や余暇に関わる学習活動 (ア)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること。 (イ)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現すること。			
	エ 乳幼児や高齢者などの生活：乳幼児や高齢者と接することなどに関わる学習活動 (ア)乳幼児や高齢者などの生活の特徴、乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くこと。 (イ)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現すること。			
B 衣食住の生活	ア 食事の役割：食事の役割に関わる学習活動 (ア)生活の中で食事が果たす役割について理解すること。 (イ)健康によい食習慣について考え、工夫すること。			
	イ 日常食の調理：日常食の調理に関わる学習活動 (ア)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること。 (イ)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること。			
	ウ 衣服の選択：衣服の選択に関わる学習活動 (ア)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 (イ)衣服の選択について考え、工夫すること。			
	エ 布を用いた製作：布を用いた製作に関わる学習活動 (ア)目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。 (イ)目的に応じた縫い方について考え、工夫すること。			
C 消費生活・環境	ア 消費生活：消費生活に関わる学習活動 (ア)次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くこと。 ⑧ 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができること。 (イ)物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること。			
	イ 消費者の基本的な権利と責任：消費者の基本的な権利と責任に関わる学習活動 (ア)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くこと。 (イ)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現すること。			

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P238～245参照

高等部【家庭】2段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	イ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

内容

		1学年	2学年	3学年
A 家族・ 家庭生活	ア 自分の成長と家族：自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (ア)自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解すること。 (イ)家族とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。			
	イ 家庭生活での役割と地域との関わり：家族や地域の人々などに関わる学習活動 (ア)家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解すること。 (イ)家庭と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。			
	ウ 家庭生活における健康管理と余暇：家庭生活における健康管理や余暇に関わる学習活動 (ア)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深め、実践すること。 (イ)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫すること。			
	エ 乳幼児や高齢者などの生活：乳幼児や高齢者と接することなどに関わる学習活動 (ア)乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解すること。 (イ)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、工夫すること。			
B 衣食住の 生活	ア 必要な栄養を満たす食事：自分に必要な栄養を満たす食事に関わる学習活動 (ア)自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解すること。 (イ)一日分の献立について考え、工夫すること。			
	イ 日常食の調理：日常食の調理に関わる学習活動 (ア)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。 (イ)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。			
	ウ 衣服の手入れ：衣服の手入れに関わる学習活動 (ア)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。 (イ)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫すること。			
	エ 布を用いた製作：布を用いた製作に関わる学習活動 (ア)製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。 (イ)布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫すること。			
	オ 住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方：住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関わる学習活動 (ア)家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。 (イ)家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。			
C 消費生活・ 環境	ア 消費生活：消費生活に関わる学習活動 (ア)次のような知識及び技能を身に付けること。 ② 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。 ④ 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 (イ)物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。			
	イ 消費者の基本的な権利と責任：消費者の基本的な権利と責任に関わる学習活動 (ア)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。 (イ)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫すること。			